

1 2000年(平成12年) 10月6日 金曜日

MAINICHI

# 新毎日

毎日新聞大阪本社

号外

# 鳥取で震度6強

## M7.1 大阪も震度4



地震で商品が散らした米子市内のスーパー

# 土砂崩れ 生き埋めも

6日午後1時半ごろ、中国地方を中心に中部から九州にまたがる広い範囲で強い地震があった。鳥取県境港市など同県西部で震度6強を観測したほか、岡山県北部と香川県東部で震度5強を観測。中国地方から四国、兵庫県

# 停電、JR運転見合わせ

鳥取県西部で、深さ約10メートルの地震の規模を示すマグニチュードは7.1。津波の恐れはないという。

鳥取県日野町役場によると、同町内の工事現場で土砂崩れがあり、1人が生き埋めになったが、まもなく救出された。しかし生死は不明という。

JR西日本によると、地震による停電で、東海道、山陽の両新幹線は一時、全線運転を停止。京阪神や鳥取、岡山、広島各県内の在来線も一時全面ストップしたが、午後1時50分ごろから一部で徐行運転を始め、同58分に京阪神地区で全線運転を再開した。

同社は同30分、工藤一能・鉄道本部長を本部長とする緊急対策本部を設置し、情報収集を急いでいる。

各地の震度は次の通り。

【震度6強】鳥取県西部

【震度5強】岡山県北部、香川県東部

【震度5弱】鳥取県東部、岡山県南部、広島県西部、徳島県北部、香川県西部、兵庫県淡路島

【震度4】滋賀県北部・南部、京都府北部、大阪府北部、兵庫県北部・南部、徳島県南部、鳥取県東部、鳥取県中部、徳島県北部、南東部、徳島県南部、愛媛県東予・中予、高知県東部・中部、山口県北部・東部、大分県北部

【震度3】京都府南部、大阪府南部、奈良県、和歌山県北部・南部、鳥取県西部、愛媛県南予、山口県西部、大分県中部・南部

毎日新聞購読お申し込みは 専用フリーダイヤル 0120-468012



# 家屋が倒壊、道路陥没

## 「車が埋もれている」の情報も

鳥取県米子市では長い横揺れが断続的に続き、同市加茂町では歩道にひび割れ

が入った。同市の防災無線は「警戒してご注意ください」と、市民に注意を呼び掛けた。

鳥取市内や岡山、広島市内への電話は通じにくくなっている。米子市の県立米子コンベンションセンターでは、この日から「介護保険推進全国サミット」が開かれており、会場には参加者約2000人がいたが、突然の大揺れにステイジの壁は突然、中断した。揺れは横揺れから縦揺れになり、長い間続いた。

座席に座っていた参加者たちからは「地震、地震!」「中止、中止だ!」と叫び声があがり、多くが屋外に飛び出した。ステイジ上の照明などの機材も大揺れになったが、マイクが使用せず、大声で「そこは危ない」などと声を掛け合った。

震源地に近い鳥取県境港市の市中心部では、建物の倒壊や火災などは発生していないが、民家の食器棚から食器が落ちたり、タンスから箱が落ちるなどした。

住民らは家の外に飛び出し、被害状況の確認に走り回っている。

米子消防署によると、溝口町で土砂崩れが発生、車が埋もれているとの情報が入っている。また、西伯町では、たんすが倒れて下敷きになった人がけがをしており、米子市内でもレンタルビデオ店で店内の商品が倒れ、客がけがをしている

という。

境港市内では、同市上道で宗教団体の施設の一部が倒壊したほか、民家1棟が倒壊。また、同市外江の寺院では、プロック解が倒れた。

米子市和田町では、民家1棟が倒壊、道路をふさいでいる。

鳥取県米子市総務課に入った報告によると、6日午後2時15分現在で同市内の数カ所で道路が陥没している。

震度5弱の強い揺れがあった鳥根県鹿島町の中国電力鳥根原発電には、1号機(沸騰水型、46万キロワット、1974年3月運転開始)、2号機(同、82万キロワット、89年2月運転開始)があるが、ともに定期検査のため現在は運転停止中。同原発によると、午後1時40分時点で被害は確認されていない。

15基の原発が立地する福井県によると、原発への影響は現在のところ確認されていない。

四国電力(高松市)によると、四国4県で地震による停電はないという。

JR大阪駅では、13時33分ごろ、大阪地方で強い地震が発生しました。安全確保のため、全列車を止めております。と放送が繰り返された。乗客らは「どうなってるんだ」と言いながら、携帯電話や公衆電話で電話する姿が目立った。

神戸市は地震発生直後に災害警戒本部を設置。市内の被害状況などの情報収集を始めた。また、中国自動車道の福崎-佐用間が道路点検のため午後1時半から通行止めになった。

高松市で一番高いビルの香川県庁本館(21階建て)ではエレベーターが止まり、職員らは階段を上り下りしながら情報収集や対策の打ち合わせに追われている。